

近代日本を考えるヒント（その2）－「歌」で歴史を読み解く－



2021年10月09日(土)

3限～4限 (13:00～16:15)

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

| | | | |
|-----|---|------|---------|
| 学 期 | 秋学期前半 | 講座番号 | 21119 |
| 教 室 | オンライン講座 | 形 式 | レクチャー形式 |
| 備 考 | ・1回(90分)、全4回の講座です。・掲載内容は2021年4月1日時点の情報です。 | | |

講座概要

「歌は世につれ世は歌につれ」という言葉があります。「歌」は、時代を映す鏡と言えるかもしれませんが。そうであるなら、「歌」により歴史を繙くことができるのではないのでしょうか。本講座は、そうした壮大で野心的ともいえる、あるいは無謀と表現した方がよい挑戦を、昭和の戦争の時代を射程に置いて試みるものです。

この時代、人々が口ずさんだ「歌」、一般に「軍歌」と呼称されている「歌」から同時代の日本人の精神を読み解いていきます。「軍歌」と言うと、戦意昂揚のための「勇ましい歌」を想像しがちですが、皆さんは、そうした印象に捉われすぎていませんか。大衆の共鳴を生んだ「軍歌」は、「勇ましき」より、どこか「哀愁」や「悲壮感」さえ漂うものです。「軍歌」の中で、敵はどのように描かれたのでしょうか？「軍歌」の中では、敵の打倒を目指して、何が、どのように歌われたのでしょうか？「軍歌」は、戦時下、時代が下るに従い、その内容を変化させたのでしょうか？他国のそれと比較すると何が見えてくるのでしょうか？これらの問題に切り込んでいきます。

さらに、昭和の戦時下、国内に響き渡った「軍歌」は、敗戦とともにどのような運命を辿ったのでしょうか？その検証作業は、GHQ占領下、戦後日本に形成された言論空間の特徴を解き明かすことにもつながります。敗戦に伴い、政府により行われた検閲は撤廃され、日本国民は言論や思想の自由を獲得したと教えられてきましたが、そうした理解だけで十分なのでしょうか？「歌」が辿った運命を辿りながら、GHQ占領下の言論統制の実際にも迫っていきます。

実際に「歌」を視聴してもらいます。時代の旅先案内人として解説を加えながら、履修者の皆さんを昭和の戦中戦後の時代へとお連れします。是非とも、同時代を追体験する「歴史旅行」の醍醐味を味わっていただきたいと思います。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

玉井 清 慶應義塾大学 法学部 教授

慶應義塾大学法学部教授（法学博士）。専攻：近代日本政治史（政治家、言論人、思想家、政党、選挙、メディア、プロパガンダ、を主対象とする歴史研究）。ハーバード大学（ライシャワー研究所、イエンチン研究所）、中央研究院（台湾）、オックスフォード大学（日産・日本研究所）、各研究所の訪問研究員を歴任。主要著作：『写真週報とその時代④⑤』（編著、慶應義塾大学出版、2017年）。『第1回普選と選挙ポスター・昭和初頭の選挙運動』（慶應義塾大学出版、2013年）。『原敬と立憲政友会』（慶應義塾大学出版、1999年）。『満州事変の衝撃』（共著・頸草書房、1995年）。『大麻唯男』（共著、櫻田会、1995年）。

スケジュール

| 日時 | 内容 |
|---------------------------------------|--|
| 2021年10月09日(土) 3限~4限 (13:00~16:15) | 主題：戦中戦後の言論統制について 説明：敗戦後、日本国民は戦前の抑圧から脱し、平和と民主主義の掛け声の下、言論と思想の自由を謳歌したと考えられ、教えられてきました。果たして、そうした理解だけでよいのでしょうか？ |
| 2021年10月16日(土) 3限~4限 (13:00~16:15) | 主題：「軍歌」の検証とその辿った運命について 説明：昭和の戦時下、日本人なら誰もが耳にし、口ずさんだ「歌」を糸口に、歴史の内奥に切り込んでいきます。 |

受講のお申込み

| | |
|--------|------------------|
| 開催回：4回 | 受講料：15,000円 (税込) |
|--------|------------------|

講座概要

【実施日程】

春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日

春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日

春学期補講：6月12日、7月17日

秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日

秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日

秋学期補講：10月23日、12月4日

【募集形式別受講料・募集人数】

講座I (レクチャー形式、全4回) : 1.5万円、70名

講座II (ゼミ形式、全8回) : 10万円、20名



三田オープンカレッジ公式ページ

<https://www.moc.keio.ac.jp/>

三田オープンカレッジ事務局連絡先

keio-moc@withus-inc.co.jp

